追加機能一覧

ファームウェアV1.30より、次の機能が追加されました。
- 欧州待機時電力規制（ErP）対応のため、ACアダプター接続時にもオートパワーセーブ機能が動作するようになりました。

ファームウェアV1.20より、次の機能が追加されました。
- チューナーが使い易くなりました。

ファームウェアV1.10より、次の機能が追加されました。
- EXT IN入力レベルのL/R個別設定機能
- DELAY時間のL/R個別設定機能
- **“INPUT LEVEL”**設定画面に入力ソース名を表示

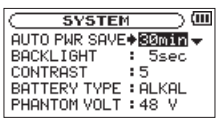
ファームウェアV1.02より、次の機能が追加されました。
- 4CH MODE時のEXT IN Rチャンネルミュート機能

ファームウェアV1.30の追加機能

ACアダプター接続時のオートパワーセーブ機能

V1.30より、欧州待機時電力規制（ErP）対応のため、ACアダプター使用時にもオートパワーセーブ機能が動作するようになりました。
“SYSTEM”画面のメニュー項目の表記を**“AUTO OFF”**から**“AUTO PWR SAVE”**に変更しました。
初期設定では、オートパワーセーブ機能の設定が30分となっており、無操作状態で30分経過すると自動的に電源がオフ（スタンバイ状態）となります。
選択肢は、以下の通りです。

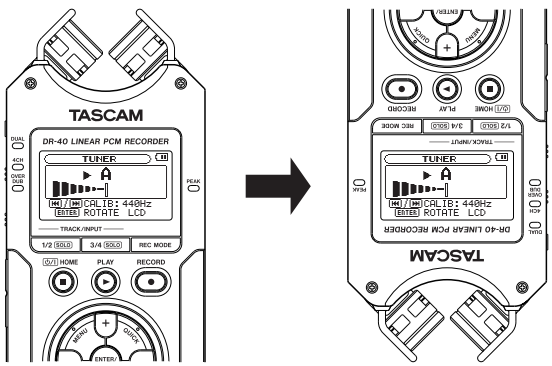
選択肢：“OFF”、“3min”、“5min”、“10min”、“30min”（初期値）



ファームウェアV1.20の追加機能

チューナー機能の表示機能

“TUNER”画面中にENTER/MARKボタンを押すと、画面の上下が反転します。
内蔵マイクをチューナー使用者に向けた時に、表示が分かりやすくなりました。

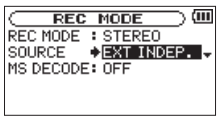


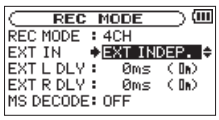
ファームウェアV1.10の追加機能

EXT IN入力レベルのL/R個別設定機能

EXT INの入力レベルをLチャンネルとRチャンネルで個別に設定することができます。
異なるマイクを2本使用する場合や音量差が大きい場合などに使用します。

1. REC MODEボタンを押して、**“REC MODE”**画面を表示します。
2. +ボタンまたはーボタンを使って**“SOURCE”**（4CH MODE時は“EXT IN”）項目を選択し（反転表示）、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
3. +ボタンまたはーボタンを使って、入力ソースを**“EXT INDEP.”**に設定します。





4. HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。
5. RECORD[●]ボタンを押して、録音待機状態にします。
6. 左サイドパネルのINPUT LEVEL（+／ー）ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部からプルアップ表示されます。

7. 入力レベル設定対象（L／R）の切り換えには以下のボタンを使用します。

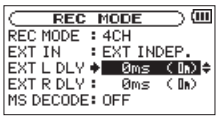
STEREO MODE/DUAL MODE/
OVERDUB SEPARATE MODE ：1/2ボタン
4CH MODE/OVERDUB MIX MODE ：3/4ボタン

メモ
- **“REC MODE”**画面中の入力選択（**“SOURCE”**または**“EXT IN”**）を**“EXT IN 1/2”**に設定すると、EXT IN入力レベルはL／Rで共通となります。
- **“EFFECT”**画面の**“SOURCE”**項目を**“EXT IN”**または**“INT MIC”**に設定し、入力音にエフェクトを掛ける場合、エフェクト音にはLチャンネルとRチャンネルの成分が含まれるため、録音結果に反対側のチャンネルの音が混ざります。

DELAY時間のL/R個別設定機能

音源からINT MIC、音源からEXT IN Lチャンネル、音源からEXT IN Rチャンネルの各距離に差がある場合、INT MIC位置を基準にEXT IN LチャンネルとEXT IN Rチャンネルのディレイ時間を設定し、時間差を吸収する事ができます。

1. REC MODEボタンを押して、**“REC MODE”**画面を表示します。
2. +ボタンまたはーボタンを使って“**REC MODE**”項目を選択し（反転表示）、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
3. +ボタンまたはーボタンを使って、**“4CH”**を選択します。
4. I◄◄ボタンをを押して、設定項目選択状態に戻します。
5. +ボタンまたはーボタンを使って**“EXT L DLY”**項目を選択し（反転表示）、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
6. +ボタンまたはーボタンを使って、EXT Lチャンネルの**DELAY**時間を設定します。
7. I◄◄ボタンをを押して、設定項目選択状態に戻します。
8. +ボタンまたはーボタンを使って**“EXT R DLY”**項目を選択し（反転表示）、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
9. +ボタンまたはーボタンを使って、EXT Rチャンネルの**DELAY**時間を設定します。



メモ

音源からの距離がINT MICよりEXT MICの方が遠い場合にはマイナスのDELAY時間を設定します。

INPUT LEVEL設定画面に入力ソース名を表示

左サイドパネルの**INPUT LEVEL**（+／ー）ボタンを押したときに表示される**INPUT LEVEL**設定プルアップ画面に入力ソースに対応した表示を行います。

表示は、以下の4種類となります。

INT MIC LVL　：内蔵マイクレベル
EXT IN LVL　：EXT INレベル
EXT Lch LVL　：EXT IN Lチャンネルレベル
EXT Rch LVL　：EXT IN Rチャンネルレベル

メモ

“REC MODE”画面中の入力選択（**“SOURCE”**または**“EXT IN”**）が**“EXT INDEP.”**の時に、EXT Lch LVLとEXT Rch LVLを切り換えるには、以下のボタンを使用します。

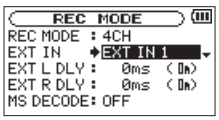
STEREO MODE/DUAL MODE/
OVERDUB SEPARATE MODE：1/2ボタン
4CH MODE/OVERDUB MIX MODE：3/4ボタン

ファームウェアV1.02の追加機能

4CH MODE時のEXT IN Rチャンネルミュート機能

EXT IN Lチャンネルの入力のみを使用して、内蔵マイク+モノラルマイクの3チャンネルとして使用することができます。

1. REC MODEボタンを押して、“**REC MODE**”画面を表示します。
2. +ボタンまたはーボタンを使って**“REC MODE”**項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
3. +ボタンまたはーボタンを使って、**“4CH”**を選択します。
4. I◄◄ボタンをを押して、設定項目選択状態に戻します。
5. +ボタンまたはーボタンを使って**“EXT IN”**項目を選択し（反転表示）、ENTER/MARKボタンまたは►►Iボタンを押します。
6. +ボタンまたはーボタンを使って、**“EXT IN 1”**に設定します。



メモ

- 2つのステレオファイルが作成され、EXT IN Rチャンネル側がミュートされた状態となります。
- モニター状態で**EXT IN L**チャンネルをセンターに定位させたい場合、録音または録音待機状態で**MIXER**ボタンを押して3chの**PAN**を“**C**”（Center）に設定してください。

注意

“EXT IN”項目が**“EXT IN 1”**に設定されている場合は、録音時にエフェクター機能は動作しません。

Printed in China